# 平成25年度 B型肝炎創薬実用化等研究事業『成果概要』

研究課題：革新的な動物モデルや培養技術の開発を通じたHBV排除への創薬研究
課題番号　：H24-B創-肝炎-一般-016
予定期間　：H24年度からH28年度まで
研究代表者　：茶山一彰
所属研究機関：広島大学
所属部局　：大学院医歯薬保健学研究院
職名　：教授
年次別研究費(交付決定額)：1年目　100,000,000　円2年目　170,000,000　円

## Ⅰ．研究の意義

(1)B型肝炎の治療は核酸アナログとIFNにより改善したが完全に排除することは出来ていない。
(2)ウイルスを完全に、かつ安全に排除することは患者の治療のみならず、患者の精神的負担、経済的負担を軽減することができ、医療経済の負担軽減にも貢献する。

## Ⅱ．研究の目的、期待される成果

(1)B型肝炎ウイルスを安全に、かつ完全に排除(HBs抗体陽性化)する新規治療を開発する。
(2)この目的の達成に資する動物モデル、細胞培養系を改善し、治療の有効性、安全性を評価する。
(3)日本発の新しい治療の開発は患者の治療からの解放のみならず、日本の経済の活性化に寄与し、また貿易収支の医療面での赤字の改善にも貢献する。

## Ⅲ．2年間の研究成果

・研究代表者（茶山一彰）
(1)B型劇症肝炎モデルに対する抗体治療の作製用の抗FAS-L発現細胞を作製した。
(2)ヒト化TK-NOG mouseを用いてB型肝炎ウイルスの感染、治療効果の確認が出来ることを明らかにした(Kosaka et al. BBRC 2013)。この系とヒトPBMCによる肝炎モデルを作製した。また長期間ヒト化が保たれるcDNA-uPA/SCIDマウスHBV感染系を構築した(立野班員との共同研究)。
(3)uPA/scid肝細胞移植マウスを用いて感染により肝細胞で自然免疫が作動すること、次世代シーケンサーによるmRNAの発現解析によりこれまでに報告されていないサイトカインの発現誘導が起こること、特定のmiRNAが誘導されること(田原班員との共同研究)、HBV感染によりIFNによるISGの誘導の一部が阻害されることを明らかにした。また、ヒト肝細胞キメラマウス由来の初代培養肝細胞でHBV増殖を支持する宿主因子の同定が可能であることを明らかにした。
(4)CRISPR/Cas9を用いて高効率にHBVの増殖を抑制する系を構築した(山本班員との共同研究)。
(5)キメラマウスにHBs抗体を大量に投与、ウイルスの減少を確認、ヒトでの効果を検証した。
・研究分担者(瀬谷司) (1) HBV感染の自然免疫応答をマウスhydrodynamicsモデルで解析した。a) マウス in vivo でHBV 複製制御にIRF3/7 は関与するが、MAVS、TICAM-1 は関与しない。よってHBV はDNA phase でIRF3/7 依存性のtype I IFN誘導系に検知される。b) HBV plasmid はRagによる獲得免疫を起動するが、MyD88-/- マウスでRag-/- と同等の持続感染が誘導できた。
・研究分担者(加藤博己) ＮＴＣＰ安定発現株をHeLa, HepG2の２種類を用いて樹立し、ＨＢＶ複製を認めることができた。アルブミンプロモーター存在下で肝臓特異的にＮＴＣＰを発現するトランスジェニックマウスを作製中であり、現在germ line transmissionを確認中である。
・研究分担者（立野知世）14週間のHBV長期感染cDNA-uPA/SCIDホモキメラマウス肝臓の病理組織観察では線維化、Apoptosisはなく、肝細胞の増大が見られ、炎症や線維化に関与するマウス遺伝子発現に差はなく、増殖抑制に関与する遺伝子発現の低下傾向がみられた。より長期間のHBV感染の影響を調べるため、cDNA-uPA/SCIDヘテロキメラマウスへのHBV感染実験を実施している。
・研究分担者(山本卓) HBVの転写活性化領域に特異的に結合するTALEおよびHBVのコアタンパク質遺

伝子を切断して破壊する TALEN を作製し、HepG2 細胞を用いて HBV 増殖抑制効果を観察した。また、CRISPR/Cas9 を用いた HBV 遺伝子破壊を検討するため独自の発現ベクターを構築した。

・研究分担者(田原栄俊) B型肝炎患者の血液中に存在するマイクロ RNA 関する報告は、これまでにあるが、次世代シークエンスを用いたマイクロ RNA 発現解析と配列解析を行い、B型肝炎患者でマイクロ RNA の発現量の変化と共に、IsoMiR の変化が顕著に起こっていることを見いだした。

・研究分担者(丸澤宏之) 任意の時期に肝細胞に HBV 抗原タンパク質を発現し、肝炎としての免疫応答を惹起する新規モデルマウスの樹立を進めている。薬物投与により HBV 蛋白、Mx 蛋白を発現するマウスを作製、交配しマウス肝組織における HBs 抗原の発現などの解析を行っている。

・研究分担者(Hussein H Aly) In a trial to identify factors that block HBV life cycle, we screened 500 kinases (key regulators of proteins function and signaling pathway) for its function on HBV suppression using shRNA library. We identified 5 kinases suppressing HBV significantly; we are analyzing recently the mechanism of suppression.

・研究分担者(坂口剛正) HBV 広島株の各蛋白質の発現系を確立し、P 蛋白質が全般的に転写を抑制することを見いだした。さらにいくつかのウイルス蛋白質が単独発現で細胞から放出されることを見いだして、それぞれの蛋白質のウイルス粒子形成における役割を解明している。

・研究分担者(阿部弘美) (1)1.4 倍長の HBV DNA construct と CRISPR/Cas9 による HBV 増殖抑制系を用いて、作製した CRISPR/Cas9 の系が肝細胞内の HBV を 1/5 程度に減少させることを確認した。

## Ⅳ. 平成 26～28 年度の課題

(1)uPS/scid 劇症肝炎、TK-NOG 持続肝炎モデルを使用、抗体、細胞性免疫による肝炎の制御を可能にする方法を開発。(2)ヒト肝細胞キメラマウス由来の初代培養肝細胞を用いて HBV 感染増殖に重要な宿主因子を同定。(3)CRISPR/cas9 の系をアデノウイルスベクターで供給する系を構築。

## Ⅴ. 行政施策への貢献の可能性

(1)HBV を完全に排除する治療を開発し患者を治療から解放、国の医療費負荷を軽減できる。日本発の新治療の開発は経済の活性化に寄与し、医療面の貿易収支の赤字の改善にも貢献する。

## Ⅵ. 本研究の成果(発表論文・ガイドライン・マニュアル等)

【研究代表者】茶山一彰


1. Ohishi W and Chayama K. Treatment of chronic hepatitis B with nucleos(t)ide analogues. *Hepatol Res.* 2012; 42: 219-225.
2. Matsumoto A, Tanaka E, Suzuki Y, Kobayashi M, Tanaka Y, Shinkai N, Hige S, Yatsuhashi H, Chayama K, Tsuge M, Yokosuka O, Imazeki F, Nishiguchi S, Saito M, Fujiwara K, Torii N, Karino Y and Kumada H. Combination of hepatitis B viral antigens and DNA for prediction of relapse after discontinuation of nucleos(t)ide analogs in patients with chronic hepatitis B. *Hepatol Res.* 2012; 42: 139-149.


【研究代表者】茶山一彰、【研究分担者】阿部弘美


1. Kosaka K, Hiraga N, Imamura M, Yoshimi S, Murakami E, Nakahara T, Honda Y, Ono A, Kawaoka T, Tsuge M, Abe H, Hayes CN, Miki D, Aikata H, Ochi H, Ishida Y, Tateno C, Yoshizato K, Sasaki T and Chayama K. A novel TK-NOG based humanized mouse model for the study of HBV and HCV infections. *Biochem Biophys Res Commun.* 2013; 441: 230-235.
2. Arataki K, Hayes CN, Akamatsu S, Akiyama R, Abe H, Tsuge M, Miki D, Ochi H, Hiraga N, Imamura M, Ohishi W and Chayama K. Circulating microRNA-22 correlates with microRNA-122 and represents viral replication and liver injury in patients with chronic hepatitis B. *J Med Virol.* 2013; 85: 789-798.
3. Tsuge M, Murakami E, Imamura M, Abe H, Miki D, Hiraga N, Takahashi S, Ochi H, Nelson Hayes C, Ginba H, Chayama K. Serum HBV RNA and HBeAg are useful markers for the safe discontinuation of nucleotide analogue treatments in chronic hepatitis B patients. *J Gastroenterol.* 2013; 48: 1188-1204.
4. Hayes CN, Akamatsu S, Tsuge M, Miki D, Akiyama R, Abe H, Ochi H, Hiraga N, Imamura M, Takahashi

S, Aikata H, Kawaoka T, Kawakami Y, Ohishi W and Chayama K. Hepatitis B Virus-Specific miRNAs and Argonaute2 Play a Role in the Viral Life Cycle. *PLoS One.* 2012; 7: e47490.

5. Okazaki A, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Tsuge M, Abe H, Miki D, Ochi H, Tateno C, Yoshizato K, Ohdan H and Chayama K. Severe necroinflammatory reaction caused by natural killer cell-mediated Fas/Fas ligand interaction and dendritic cells in human hepatocyte chimeric mouse. *Hepatology.* 2012; 56: 555-566.

【研究分担者】立野知世

1. 特願2012-102814 (H24年4月27日出願) 「ウロキナーゼ型プラスミノーゲン
① アクチベータトランスジェニックマウス」、PCT/JP2013/062806 (H25年4月25日出願)

【研究分担者】瀬谷司

1. Tatematsu, M., F. Nishikawa, T. Seya, and M. Matsumoto. Toll-like receptor 3 recognizes incomplete stem structures in single-stranded viral RNA. *Nat Commun.* 2013; 4: 1833.
2. Enokizono, Y., H. Kumeta, K. Funami, M. Horiuchi, J. Sarmiento, K. Yamashita, D. Standley, M. Matsumoto, T. Seya, F. Inagaki. 2013. Structures and interface mapping of the Toll/Interleukin-1 receptor-domain-containing adaptor molecules involved in interferon signaling. *Proc Natl Acad Sci USA.* (in press).

【研究分担者】加藤博己

1. Ng CS, Jogi M, Yoo JS, Onomoto K, Koike S, Iwasaki T, Yoneyama M, Kato H, Fujita T. Encephalornyocarditis virus disrupts stress granules, the critical platform for triggering antiviral innateimmune responses. *J Virol.* 2013; Sep;87(17): 9511-22.

【研究分担者】山本卓

1. Treen N, Yoshida K, Sakuma T, Sasaki H, Kawai N, Yamamoto T and Sasakura Y. Tissue-specific and ubiquitous gene knockouts in Ciona by electroporating TALENs provide new approaches to investigate gene functions, *Development,* in press.

【研究分担者】田原栄俊

1. Mikihisa Takano, Chieko Yamamoto, Keisuke Sambuichi, Keisuke Oda, Junya Nagai, Akira Shimamoto, Hidetoshi Tahara, and Ryoko Yumoto. Introduction of a Single Transporter Gene ABCA3 Directs RLE-6TN to More Type II-like Alveolar Epithelial Cells. MEMBRANE, 2013: 38 (5) : 246-253.

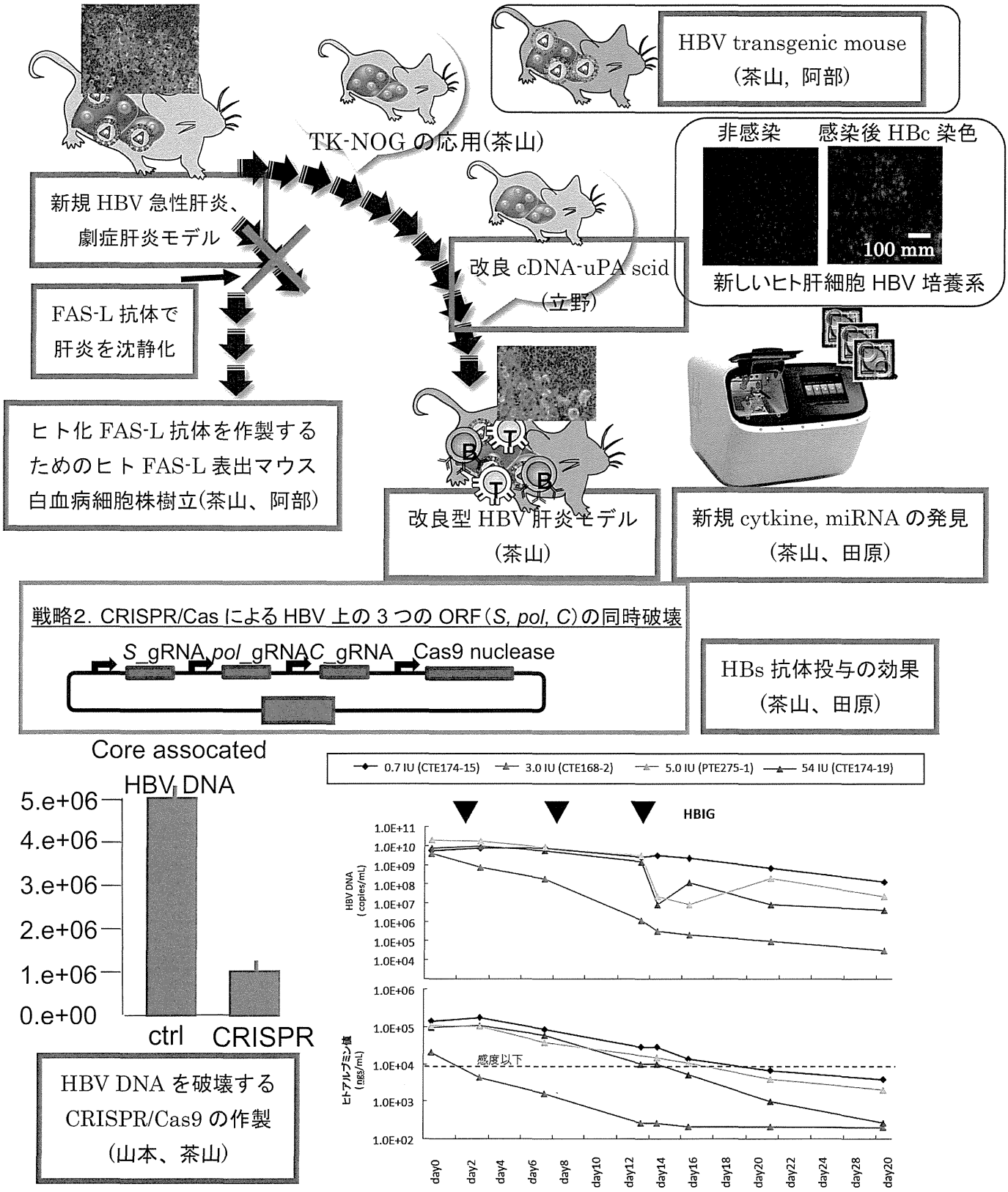
【研究分担者】丸澤宏之

1. Eso Y, Marusawa H, Chiba. Platelet plays a role in the pathogenesis of hepatitis B virus-related hepatocellular carcinoma. *Gastroenterology* 2013; 144(5): 1140-2.

**知的財産権の取得及び申請状況**

1. B型肝炎患者の血清中マイクロRNA 診断マーカー　発明者：田原栄俊、茶山一彰（広島大学・大学院医歯薬学保健学研究院）申請者：広島大学　特許申請準備中
2. C型肝炎ウイルスの感染抑制剤　発明者：土方誠，阿部雄一，脇田隆字，茶山一彰(広島大学・大学院医歯薬学保健学研究院)出願者：国立大学法人京都大学、国立感染症研究所長が代表する日本国、国立大学法人広島大学、東レ株式会社　出願日：2013年3月19日　出願番号：特願 2012－536601
3. インターフェロン療法の効果予測用マーカー　発明者：茶山一彰、(広島大学・大学院医歯薬学保健学研究院) 越智秀典、中野力太　出願者：国立大学法人広島大学、大日本住友製薬株式会社、独立行政法人理化学研究所　出願日：2012年2月15日　出願番号：特願2012－031178
4. 肝細胞癌への進展予測マーカー　発明者：茶山一彰、(広島大学・大学院医歯薬学保健学研究院) 越智秀典、三木大樹　出願者：国立大学法人広島大学、大日本住友製薬株式会社、独立行政法人理化学研究所　出願日:2012年2月10日　出願番号:特願2012－027735　公開番号:特開2012－179047
5. B型肝炎発症ヒト肝細胞キメラモデル動物の作製方法　発明者：茶山一彰(広島大学・大学院医歯薬学保健学研究院)　出願者：国立大学法人広島大学　出願日：2011年8月31日　出願番号：特願2011-189317　公開番号：特開2013-048606

## Ⅶ. Ⅲ（2 年間の研究成果）の概要図等



●研究代表者の研究歴等

※研究代表者に関するもののみを記載してください。(研究代表者には下線をつけて下さい)

・過去に所属した研究機関の履歴

・昭和61年～平成2年国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科
消化器内科学（肝臓病学）に関する臨床研究を行った。

・平成2年～平成12年国家公務員共済組合連合会虎の門病院内科　医長
消化器内科学（肝臓病学）に関する臨床研究を行いつつ、肝炎ウイルスに関する分子生物学的研究を行った。

・平成12年9月～文部科学教官教授（広島大学内科学第一講座）
消化器内科、循環器内科に関する診療、臨床研究を行いつつ、肝炎ウイルスに関する分子生物学的研究、ヒトの遺伝素因と疾患に関する研究、動物を用いた肝炎ウイルス肝炎モデルに関する研究を開始した。

・平成14年4月～広島大学大学院・医歯薬学総合研究科・創生医科学専攻・先進医療開発科学講座・分子病態制御内科学（旧内科学第一講座）教授
消化器内科、循環器内科に関する診療、臨床研究を行いつつ、肝炎ウイルスに関する分子生物学的研究、ヒトの遺伝素因と疾患に関する研究、動物を用いた肝炎ウイルス肝炎モデルに関する研究をさらに展開している。

・主な共同研究者(又は指導を受けた研究者)

・指導を受けた研究者：熊田博光

・共同研究者：中村祐輔[シカゴ大学],松浦善治[大阪大学微生物学研究所],脇田隆字[国立感染症研究所],溝上雅史[国立肝炎免疫センター],金子周一[金沢大学],高倉喜信[京都大学],Jia-Horng Kao [National Taiwan University], Jake Liang [NIH], Susan Uprichard[Loyola University], Harel Dahari[Loyola University].

・主な研究課題

1. B型肝炎ウイルスの増殖に関する研究
2. B型慢性肝炎の治療に関する研究
3. C型肝炎ウイルスの増殖とインターフェロン治療効果との関連の研究
4. C型肝炎ウイルスのgenotypeに関する研究
5. 肝細胞癌の治療と再発防止に関する研究
6. 消化器癌の形態学的、分子病理学的研究
7. 内科学（消化器内科学）に関する研究

・これまでの研究実績

※研究代表者の本研究の成果以外の実績も記載してください。
(成果概要VIと重複するものや本研究成果によるものは、***太字・斜体***文字で記載してください)

※発表論文名・学協会誌名・発表年(西暦)、知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言(寄与した指針又はガイドライン等)のうち、主なものを選択し、直近年度から順に記載してください。


1. Takahashi Y, Ando M, Nishikawa M, Hiraga N, Imamura M, Chayama K, Takakura Y. Long-term Elimination of Hepatitis C Virus from Human Hepatocyte Chimeric Mice following Interferon-γ Gene Transfer. *Hum Gene Ther Clin Dev.* 2013 in press.
2. Zhang Y, Takahashi S, Tasaka A, Yoshima T, Ochi H and Chayama K. Involvement of microRNA-224 in cell proliferation, migration, invasion, and anti-apoptosis in hepatocellular carcinoma. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; 28: 565-575.
3. Yoneda M, Imajo K, Eguchi Y, Fujii H, Sumida Y, Hyogo H, Ono M, Suzuki Y, Kawaguchi T, Aoki N, Sata M, Kanemasa K, Kohgo Y, Saibara T, Chayama K, Itoh Y, Yoshikawa T, Anzai K, Fujimoto K, Okanoue T, Nakajima A and Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver D. Noninvasive

scoring systems in patients with nonalcoholic fatty liver disease with normal alanine aminotransferase levels. *J Gastroenterol.* 2013; 48: 1051-1060.

4. Watari I, Oka S, Tanaka S, Aoyama T, Imagawa H, Shishido T, Yoshida S and Chayama K. Effectiveness of polaprezinc for low-dose aspirin-induced small-bowel mucosal injuries as evaluated by capsule endoscopy: a pilot randomized controlled study. *BMC Gastroenterol.* 2013; 13: 108.
5. Urabe Y, Ochi H, Kato N, Kumar V, Takahashi A, Muroyama R, Hosono N, Otsuka M, Tateishi R, Lo PH, Tanikawa C, Omata M, Koike K, Miki D, Abe H, Kamatani N, Toyota J, Kumada H, Kubo M, Chayama K, Nakamura Y and Matsuda K. A genome-wide association study of HCV-induced liver cirrhosis in the Japanese population identifies novel susceptibility loci at the MHC region. *J Hepatol.* 2013; 58: 875-882.
6. *Tsuge M, Murakami E, Imamura M, Abe H, Miki D, Hiraga N, Takahashi S, Ochi H, Nelson Hayes C, Ginba H, Matsuyama K, Kawakami H and Chayama K. Serum HBV RNA and HBeAg are useful markers for the safe discontinuation of nucleotide analogue treatments in chronic hepatitis B patients. J Gastroenterol. 2013; 48: 1188-1204.*
7. Tsuge M and Chayama K. Availability of monitoring serum HBV DNA plus RNA during nucleot(s)ide analogue therapy. *J Gastroenterol.* 2013; 48: 779-780.
8. Toyota J, Ozeki I, Karino Y, Asahina Y, Izumi N, Takahashi S, Kawakami Y, Chayama K, Kamiya N, Aoki K, Yamada I, Suzuki Y, Suzuki F and Kumada H. Virological response and safety of 24-week telaprevir alone in Japanese patients infected with hepatitis C virus subtype 1b. *J Viral Hepat.* 2013; 20: 167-173.
9. Tashiro H, Ide K, Amano H, Kobayashi T, Onoe T, Ishiyama K, Kuroda S, Tazawa H, Kono H, Aikata H, Takahashi S, Chayama K and Ohdan H. Surgical treatment for portosystemic encephalopathy in patients with liver cirrhosis: Occlusion of portosystemic shunt in combination with splenectomy. *Hepatol Res.* 2013; 43: 249-254.
10. Tanaka S, Terasaki M, Hayashi N, Oka S and Chayama K. Warning for unprincipled colorectal endoscopic submucosal dissection: accurate diagnosis and reasonable treatment strategy. *Dig Endosc.* 2013; 25: 107-116.
11. Tanaka S, Hayashi N, Oka S and Chayama K. Endoscopic assessment of colorectal cancer with superficial or deep submucosal invasion using magnifying colonoscopy. *Clin Endosc.* 2013; 46: 138-146.
12. Taketani H, Sumida Y, Tanaka S, Imajo K, Yoneda M, Hyogo H, Ono M, Fujii H, Eguchi Y, Kanemasa K, Chayama K, Itoh Y, Yoshikawa T, Saibara T, Fujimoto K, Nakajima A and Japan Study Group of N. The association of insomnia with gastroesophageal reflux symptoms in biopsy-proven nonalcoholic fatty liver disease. *J Gastroenterol.* 2013; in press.
13. Takata S, Tanaka S, Hayashi N, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S and Chayama K. Characteristic magnifying narrow-band imaging features of colorectal tumors in each growth type. Int *J Colorectal Dis.* 2013; 28: 459-468.
14. Takamura A, Ito M, Boda T, Matsumoto Y, Tanaka S, Yoshihara M and Chayama K. High expression of gastrin receptor protein in injured mucosa of Helicobacter pylori-positive gastritis. *Dig Dis Sci.* 2013; 58: 634-640.
15. Takaki S, Kawakami Y, Miyaki D, Nakahara T, Naeshiro N, Murakami E, Tanaka M, Honda Y, Yokoyama S, Nagaoki Y, Kawaoka T, Hiramatsu A, Tsuge M, Hiraga N, Imamura M, Hyogo H, Aikata H, Takahashi S, Arihiro K and Chayama K. Non-invasive liver fibrosis score calculated by combination of virtual touch tissue quantification and serum liver functional tests in chronic hepatitis C patients. *Hepatol Res.* 2013; in press.
16. Suzuki Y, Ikeda K, Suzuki F, Toyota J, Karino Y, Chayama K, Kawakami Y, Ishikawa H, Watanabe

H, Hu W, Eley T, McPhee F, Hughes E and Kumada H. Dual oral therapy with daclatasvir and asunaprevir for patients with HCV genotype 1b infection and limited treatment options. *J Hepatol.* 2013; 58: 655-662.
17. Suenari K, Nakano Y, Hirai Y, Ogi H, Oda N, Makita Y, Ueda S, Kajihara K, Tokuyama T, Motoda C, Fujiwara M, Chayama K and Kihara Y. Left atrial thickness under the catheter ablation lines in patients with paroxysmal atrial fibrillation: insights from 64-slice multidetector computed tomography. *Heart Vessels.* 2013; 28: 360-368.
18. Shinagawa K, Kitadai Y, Tanaka M, Sumida T, Onoyama M, Ohnishi M, Ohara E, Higashi Y, Tanaka S, Yasui W and Chayama K. Stroma-directed imatinib therapy impairs the tumor-promoting effect of bone marrow-derived mesenchymal stem cells in an orthotopic transplantation model of colon cancer. *Int J Cancer.* 2013; 132: 813-823.
19. Shi N, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Zhang Y, Kosaka K, Okazaki A, Murakami E, Tsuge M, Abe H, Aikata H, Takahashi S, Ochi H, Tateno-Mukaidani C, Yoshizato K, Matsui H, Kanai A, Inaba T, McPhee F, Gao M and Chayama K. Combination therapies with NS5A, NS3 and NS5B inhibitors on different genotypes of hepatitis C virus in human hepatocyte chimeric mice. *Gut.* 2013; 62: 1055-1061.
20. Sanomura Y, Oka S, Tanaka S, Numata N, Higashiyama M, Kanao H, Yoshida S, Ueno Y and Chayama K. Continued use of low-dose aspirin does not increase the risk of bleeding during or after endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer. *Gastric Cancer.* 2013; in press.
21. Saibara T, Enomoto N, Kaneko S, Chayama K, Sata M, Imawari M, Onishi S and Okita K. Clinical efficacy of combination therapy with ME3738 and pegylated interferon-alpha-2a in patients with hepatitis C virus genotype 1. *Hepatol Res.* 2013; in press.
22. Ozawa SI, Tanaka S, Hayashi N, Nishiyama S, Terasaki M, Nakadoi K, Kanao H, Oka S, Yoshida S and Chayama K. Risk factors for vertical incomplete resection in endoscopic submucosal dissection as total excisional biopsy for submucosal invasive colorectal carcinoma. *Int J Colorectal Dis.* 2013; 28: 1247-1256.
23. Oka S, Tanaka S, Nakadoi K, Kanao H and Chayama K. Risk analysis of submucosal invasive rectal carcinomas for lymph node metastasis to expand indication criteria for endoscopic resection. *Dig Endosc.* 2013; 25 Suppl 2: 21-25.
24. Oka S, Tanaka S, Higashiyama M, Numata N, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K and Chayama K. Clinical validity of the expanded criteria for endoscopic resection of undifferentiated-type early gastric cancer based on long-term outcomes. *Surg Endosc.* 2013; in press.
25. Ohishi W, Cologne JB, Fujiwara S, Suzuki G, Hayashi T, Niwa Y, Akahoshi M, Ueda K, Tsuge M and Chayama K. Serum interleukin-6 associated with hepatocellular carcinoma risk: A nested case-control study. *Int J Cancer.* 2013; in press.
26. Numata N, Oka S, Tanaka S, Higashiyama M, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K and Chayama K. Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in patients with chronic kidney disease. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; 28: 1632-1637.
27. Nakano Y, Chayama K, Ochi H, Toshishige M, Hayashida Y, Miki D, Hayes CN, Suzuki H, Tokuyama T, Oda N, Suenari K, Uchimura-Makita Y, Kajihara K, Sairaku A, Motoda C, Fujiwara M, Watanabe Y, Yoshida Y, Ohkubo K, Watanabe I, Nogami A, Hasegawa K, Watanabe H, Endo N, Aiba T, Shimizu W, Ohno S, Horie M, Arihiro K, Tashiro S, Makita N and Kihara Y. A nonsynonymous polymorphism in semaphorin 3A as a risk factor for human unexplained cardiac arrest with documented ventricular fibrillation. *PLoS Genet.* 2013; 9: e1003364.
28. Nakano R, Maekawa T, Abe H, Hayashida Y, Ochi H, Tsunoda T, Kumada H, Kamatani N, Nakamura Y and Chayama K. Single-nucleotide polymorphisms in GALNT8 are associated with the response to interferon therapy for chronic hepatitis C. *J Gen Virol.* 2013; 94: 81-89.

29. Nakano M, Oka S, Tanaka S, Aoyama T, Watari I, Hayashi R, Miyaki R, Nagai K, Sanomura Y, Yoshida S, Ueno Y and Chayama K. Clinical usefulness of classification by transabdominal ultrasonography for detection of small-bowel stricture. *Scand J Gastroenterol.* 2013; 48: 1041-1047.
30. Nagaoki Y, Aikata H, Kobayashi T, Fukuhara T, Masaki K, Tanaka M, Naeshiro N, Nakahara T, Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Takaki S, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Hyogo H, Kawakami Y, Takahashi S, Ochi H and Chayama K. Risk factors for the exacerbation of esophageal varices or portosystemic encephalopathy after sustained virological response with IFN therapy for HCV-related compensated cirrhosis. *J Gastroenterol.* 2013; 48: 847-855.
31. Naeshiro N, Kakizawa H, Aikata H, Kan H, Fujino H, Fukuhara T, Kobayashi T, Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Tsuge M, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Hyogo H, Ishikawa M, Awai K and Chayama K. Percutaneous transvenous embolization for portosystemic shunts associated with encephalopathy: Long-term outcomes in 14 patients. *Hepatol Res.* 2013; in press.
32. Miyaki R, Yoshida S, Tanaka S, Kominami Y, Sanomura Y, Matsuo T, Oka S, Raytchev B, Tamaki T, Koide T, Kaneda K, Yoshihara M and Chayama K. Quantitative identification of mucosal gastric cancer under magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; 28: 841-847.
33. Miwata T, Hiyama T, Oka S, Tanaka S, Shimamoto F, Arihiro K and Chayama K. Clinicopathologic features of hyperplastic/serrated polyposis syndrome in Japan. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; 28: 1693-1698.
34. Mikami S, Nakashima A, Nakagawa K, Maruhashi T, Iwamoto Y, Kajikawa M, Matsumoto T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Ochi M, Nishimura M, Tsuji K, Kato Y, Goto C and Higashi Y. Autologous bone-marrow mesenchymal stem cell implantation and endothelial function in a rabbit ischemic limb model. *PLoS One.* 2013; 8: e67739.
35. Masaki K, Takaki S, Hyogo H, Kobayashi T, Fukuhara T, Naeshiro N, Honda Y, Nakahara T, Ohno A, Miyaki D, Murakami E, Nagaoki Y, Kawaoka T, Tsuge M, Hiraga N, Hiramatsu A, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Takahashi S, Arihiro K and Chayama K. Utility of controlled attenuation parameter measurement for assessing liver steatosis in Japanese patients with chronic liver diseases. *Hepatol Res.* 2013; in press.
36. Maruhashi T, Soga J, Fujimura N, Idei N, Mikami S, Iwamoto Y, Kajikawa M, Matsumoto T, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Goto C and Higashi Y. Nitroglycerine-induced vasodilation for assessment of vascular function: a comparison with flow-mediated vasodilation. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2013; 33: 1401-1408.
37. Lo PH, Urabe Y, Kumar V, Tanikawa C, Koike K, Kato N, Miki D, Chayama K, Kubo M, Nakamura Y and Matsuda K. Identification of a functional variant in the MICA promoter which regulates MICA expression and increases HCV-related hepatocellular carcinoma risk. *PLoS One.* 2013; 8: e61279.
38. Lange CM, Miki D, Ochi H, Nischalke HD, Bojunga J, Bibert S, Morikawa K, Gouttenoire J, Cerny A, Dufour JF, Gorgievski-Hrisoho M, Heim MH, Malinverni R, Mullhaupt B, Negro F, Semela D, Kutalik Z, Muller T, Spengler U, Berg T, Chayama K, Moradpour D, Bochud PY, Hiroshima Liver Study G and Swiss Hepatitis CCSG. Genetic analyses reveal a role for vitamin D insufficiency in HCV-associated hepatocellular carcinoma development. *PLoS One.* 2013; 8: e64053.
39. Kuwabara T, Hiyama T, Oka S, Urabe Y, Tanaka S, Yoshihara M, Arihiro K, Shimamoto F and Chayama K. Response. *Gastrointest Endosc.* 2013; 77: 973-974.
40. *Kosaka K, Hiraga N, Imamura M, Yoshimi S, Murakami E, Nakahara T, Honda Y, Ono A, Kawaoka T, Tsuge M, Abe H, Hayes CN, Miki D, Aikata H, Ochi H, Ishida Y, Tateno C, Yoshizato K, Sasaki T and Chayama K. A novel TK-NOG based humanized mouse model for the study of HBV*

*and HCV infections. Biochem Biophys Res Commun. 2013; 441: 230-235.*

41. Kitamoto T, Kitamoto A, Yoneda M, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Teranishi H, Mizusawa S, Ueno T, Chayama K, Nakajima A, Nakao K, Sekine A and Hotta K. Genome-wide scan revealed that polymorphisms in the PNPLA3, SAMM50, and PARVB genes are associated with development and progression of nonalcoholic fatty liver disease in Japan. *Hum Genet.* 2013; 132: 783-792.
42. Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Komatsu R, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K, Sekine A and Hotta K. NUDT3 rs206936 is associated with body mass index in obese Japanese women. *Endocr J.* 2013; 60: 991-1000.
43. Karino Y, Toyota J, Ikeda K, Suzuki F, Chayama K, Kawakami Y, Ishikawa H, Watanabe H, Hernandez D, Yu F, McPhee F and Kumada H. Characterization of virologic escape in hepatitis C virus genotype 1b patients treated with the direct-acting antivirals daclatasvir and asunaprevir. *J Hepatol.* 2013; 58: 646-654.
44. Izumi N, Asahina Y, Kurosaki M, Yamada G, Kawai T, Kajiwara E, Okamura Y, Takeuchi T, Yokosuka O, Kariyama K, Toyoda J, Inao M, Tanaka E, Moriwaki H, Adachi H, Katsushima S, Kudo M, Takaguchi K, Hiasa Y, Chayama K, Yatsuhashi H, Oketani M and Kumada H. Inhibition of hepatocellular carcinoma by PegIFNalpha-2a in patients with chronic hepatitis C: a nationwide multicenter cooperative study. *J Gastroenterol.* 2013; 48: 382-390.
45. Ishitobi T, Hyogo H, Tokumo H, Arihiro K and Chayama K. Efficacy of probucol for the treatment of non-alcoholic steatohepatitis with dyslipidemia: An open-label pilot study. *Hepatol Res.* 2013; in press.
46. Ishii Y, Sasaki T, Serikawa M, Minami T, Okazaki A, Yukutake M, Ishigaki T, Kosaka K, Mouri T, Yoshimi S, Shimizu A, Tsuboi T and Chayama K. Elevated expression of cyclooxygenase-2 and microsomal prostaglandin E synthase-1 in primary sclerosing cholangitis: Iotamplications for cholangiocarcinogenesis. *Int J Oncol.* 2013; 43: 1073-1079.
47. Imada S, Ishiyama K, Ide K, Kobayashi T, Amano H, Tashiro H, Arihiro K, Aikata H, Chayama K and Ohdan H. Inferior vena cava tumor thrombus that directly infiltrated from paracaval lymph node metastases in a patient with recurrent hepatocellular carcinoma. *World J Surg Oncol.* 2013; 11: 177.
48. Idei N, Ukawa T, Kajikawa M, Iwamoto Y, Fujimura N, Maruhashi T, Mikami S, Matsumoto T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Takayanagi T, Morimoto H, Tsuji T and Higashi Y. A novel noninvasive and simple method for assessment of endothelial function: Enclosed zone flow-mediated vasodilation (ezFMD) using an oscillation amplitude measurement. *Atherosclerosis.* 2013; 229: 324-330.
49. Hyogo H, Chayama K and Yamagishi SI. Nonalcoholic fatty liver disease and cardiovascular disease. *Curr Pharm Des.* 2013; in press.
50. Hotta K, Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K and Sekine A. Replication study of 15 recently published Loci for body fat distribution in the Japanese population. *J Atheroscler Thromb.* 2013; 20: 336-350.
51. Higashimaya M, Oka S, Tanaka S, Sanomura Y, Yoshida S, Hiyama T, Arihiro K, Shimamoto F and Chayama K. Outcome of endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasm in relationship to endoscopic classification of submucosal fibrosis. *Gastric Cancer.* 2013; 16: 404-410.

52. Higashimaya M, Oka S, Tanaka S, Numata N, Sanomura Y, Yoshida S, Arihiro K and Chayama K. Endoscopic submucosal dissection for residual early gastric cancer after endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc.* 2013; 77: 298-302.
53. Hayashi N, Tanaka S, Kanao H, Oka S, Yoshida S and Chayama K. Relationship between narrow-band imaging magnifying observation and pit pattern diagnosis in colorectal tumors. ***Digestion.*** 2013; 87: 53-58.
54. Hamai Y, Hihara J, Aoki Y, Taomoto J, Kishimoto I, Kobayashi Y, Miyata Y, Aikata H, Chayama K and Okada M. Airway stenting for tracheal obstruction due to lymph node metastasis of hepatocellular carcinoma. ***Anticancer Res.*** 2013; 33: 1761-1764.
55. Furusho H, Miyauchi M, Hyogo H, Inubushi T, Ao M, Ouhara K, Hisatune J, Kurihara H, Sugai M, Hayes CN, Nakahara T, Aikata H, Takahashi S, Chayama K and Takata T. Dental infection of Porphyromonas gingivalis exacerbates high fat diet-induced steatohepatitis in mice. *J Gastroenterol.* 2013; in press.
56. Fujii Y, Teragawa H, Soga J, Idei N, Fujimura N, Maruhashi T, Mikami S, Iwamoto Y, Hidaka T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Goto C and Higashi Y. Flow-mediated vasodilation and anatomical variation of the brachial artery (double brachial artery) in healthy subjects and patients with cardiovascular disease. ***Circ J.*** 2013; 77: 1073-1080.
57. Chayama K, Hayes CN, Ohishi W and Kawakami Y. Response to "treatment guidelines for HCV genotype 1: mono for low, triple for high, and dual for 'middle'?". *J Gastroenterol.* 2013; 48: 557-558.
58. Chayama K, Hayes CN, Ohishi W and Kawakami Y. Treatment of chronic hepatitis C virus infection in Japan: update on therapy and guidelines. *J Gastroenterol.* 2013; 48: 41286.
59. ***Arataki K, Hayes CN, Akamatsu S, Akiyama R, Abe H, Tsuge M, Miki D, Ochi H, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Aikata H, Kawaoka T, Kawakami H, Ohishi W and Chayama K. Circulating microRNA-22 correlates with microRNA-122 and represents viral replication and liver injury in patients with chronic hepatitis B. J Med Virol. 2013; 85: 789-798.***
60. Aoyama T, Oka S, Aikata H, Nakano M, Watari I, Naeshiro N, Yoshida S, Tanaka S and Chayama K. Is small-bowel capsule endoscopy effective for diagnosis of esophagogastric lesions related to portal hypertension? *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; in press.
61. Aoyama T, Oka S, Aikata H, Nakano M, Watari I, Naeshiro N, Yoshida S, Tanaka S and Chayama K. Small bowel abnormalities in patients with compensated liver cirrhosis. ***Dig Dis Sci.*** 2013; 58: 1390-1396.
62. Abe Y, Aly HH, Hiraga N, Imamura M, Wakita T, Shimotohno K, Chayama K and Hijikata M. Thromboxane A2 Synthase Inhibitors Prevent Production of Infectious Hepatitis C Virus in Mice with Humanized Livers. ***Gastroenterology.*** 2013; 145: 658-667 e611.
63. Abe H, Kimura A, Tsuruta S, Fukaya T, Sakaguchi R, Morita R, Sekiya T, Shichita T, Chayama K, Fujii-Kuriyama Y and Yoshimura A. Aryl hydrocarbon receptor plays protective roles in ConA-induced hepatic injury by both suppressing IFN-gamma expression and inducing IL-22. *Int Immunol.* 2013; in press.
64. Abe H, Hayes CN, Hiraga N, Imamura M, Tsuge M, Miki D, Takahashi S, Ochi H and Chayama K. A translational study of resistance emergence using sequential direct-acting antiviral agents for hepatitis C using ultra-deep sequencing. ***Am J Gastroenterol.*** 2013; 108: 1464-1472.
65. Takahashi S, Kimura T, Kenjo M, Nishibuchi I, Takahashi I, Takeuchi Y, Doi Y, Kaneyasu Y, Murakami Y, Honda Y, Aikata H, Chayama K and Nagata Y. Case Reports of Portal Vein Thrombosis and Bile Duct Stenosis after Stereotactic Body Radiation Therapy for Hepatocellular Carcinoma. ***Hepatol Res.*** 2013; in press.
66. Miyaki D, Aikata H, Kan H, Fujino H, Urabe A, Masaki K, Fukuhara T, Kobayashi T, Naeshiro

N, Nakahara T, Kawaoka T, Hiramatsu A, Takahashi S, Ishikawa M, Kakizawa H, Awai K and Chayama K. Clinical outcome of sorafenib treatment in patients with advanced hepatocellular carcinoma refractory to hepatic arterial infusion chemotherapy. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; in press.

67. Kimura T, Takahashi S, Kenjo M, Nishibuchi I, Takahashi I, Takeuchi Y, Doi Y, Kaneyasu Y, Murakami Y, Honda Y, Aikata H, Chayama K and Nagata Y. Dynamic computed tomography appearance of tumor response after stereotactic body radiation therapy for hepatocellular carcinoma: How should we evaluate treatment effects? *Hepatol Res.* 2013; 43: 717-727
68. Honda Y, Kimura T, Aikata H, Kobayashi T, Fukuhara T, Masaki K, Nakahara T, Naeshiro N, Ono A, Miyaki D, Nagaoki Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Ishikawa M, Kakizawa H, Kenjo M, Takahashi S, Awai K, Nagata Y and Chayama K. Stereotactic body radiation therapy combined with transcatheter arterial chemoembolization for small hepatocellular carcinoma. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013; 28: 530-536
69. Yoshioka K, Ueno Y, Tanaka S, Nagai K, Onitake T, Hanaoka R, Watanabe H and Chayama K. Role of natural killer T cells in the mouse colitis-associated colon cancer model. Scand *J Immunol.* 2012; 75: 16-26.
70. Yanagimoto S, Yotsuyanagi H, Kikuchi Y, Tsukada K, Kato M, Takamatsu J, Hige S, Chayama K, Moriya K and Koike K. Chronic hepatitis B in patients coinfected with human immunodeficiency virus in Japan: a retrospective multicenter analysis. *J Infect Chemother.* 2012; 18: 883-890.
71. Yamasaki W, Kakizawa H, Ishikawa M, Date S, Tatsugami F, Terada H, Masaki K, Kawaoka T, Tsuge M, Aikata H, Chayama K and Awai K. Migration to the pulmonary artery of nine metallic coils placed in the internal iliac vein for treatment of giant rectal varices. *Acta Radiol Short Rep.* 2012; 1.
72. Urabe Y, Tanikawa C, Takahashi A, Okada Y, Morizono T, Tsunoda T, Kamatani N, Kohri K, Chayama K, Kubo M, Nakamura Y and Matsuda K. A genome-wide association study of nephrolithiasis in the Japanese population identifies novel susceptible Loci at 5q35.3, 7p14.3, and 13q14.1. *PLoS Genet.* 2012; 8: e1002541.
73. Terasaki M, Tanaka S, Oka S, Nakadoi K, Takata S, Kanao H, Yoshida S and Chayama K. Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection and endoscopic mucosal resection for laterally spreading tumors larger than 20 mm. J *Gastroenterol Hepatol.* 2012; 27: 734-740.
74. Tatsugami M, Ito M, Tanaka S, Yoshihara M, Matsui H, Haruma K and Chayama K. Bile Acid promotes intestinal metaplasia and gastric carcinogenesis. *Cancer Epidemiol Biomarkers Prev.* 2012; 21: 2101-2107.
75. Tanimoto Y, Tashiro H, Aikata H, Amano H, Oshita A, Kobayashi T, Kuroda S, Tazawa H, Takahashi S, Itamoto T, Chayama K and Ohdan H. Impact of pegylated interferon therapy on outcomes of patients with hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma after curative hepatic resection. *Ann Surg Oncol.* 2012; 19: 418-425.
76. Tanaka S, Terasaki M, Kanao H, Oka S and Chayama K. Current status and future perspectives of endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors. *Dig Endosc.* 2012; 24 Suppl 1: 73-79.
77. Takemura Y, Yoshida S, Tanaka S, Kawase R, Onji K, Oka S, Tamaki T, Raytchev B, Kaneda K, Yoshihara M and Chayama K. Computer-aided system for predicting the histology of colorectal tumors by using narrow-band imaging magnifying colonoscopy (with video). *Gastrointest Endosc.* 2012; 75: 179-185.
78. Sumida Y, Yoneda M, Hyogo H, Itoh Y, Ono M, Fujii H, Eguchi Y, Suzuki Y, Aoki N, Kanemasa K, Fujita K, Chayama K, Saibara T, Kawada N, Fujimoto K, Kohgo Y, Yoshikawa T, Okanoue T and Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver D. Validation of the FIB4 index in a Japanese

nonalcoholic fatty liver disease population. *BMC Gastroenterol.* 2012; 12: 2.
79. Shishido T, Oka S, Tanaka S, Imagawa H, Takemura Y, Yoshida S and Chayama K. Outcome of patients who have undergone total enteroscopy for obscure gastrointestinal bleeding. *World J Gastroenterol.* 2012; 18: 666-672.
80. Shishido T, Oka S, Tanaka S, Aoyama T, Watari I, Imagawa H, Yoshida S and Chayama K. Diagnostic yield of capsule endoscopy vs. double-balloon endoscopy for patients who have undergone total enteroscopy with obscure gastrointestinal bleeding. *Hepatogastroenterology.* 2012; 59: 955-959.
81. Sanomura Y, Oka S, Tanaka S, Noda I, Higashiyama M, Imagawa H, Shishido T, Yoshida S, Hiyama T, Arihiro K and Chayama K. Clinical validity of endoscopic submucosal dissection for submucosal invasive gastric cancer: a single-center study. *Gastric Cancer.* 2012; 15: 97-105.
82. Sainz B, Jr., Barretto N, Martin DN, Hiraga N, Imamura M, Hussain S, Marsh KA, Yu X, Chayama K, Alrefai WA and Uprichard SL. Identification of the Niemann-Pick C1-like 1 cholesterol absorption receptor as a new hepatitis C virus entry factor. *Nat Med.* 2012; 18: 281-285.
83. Oshita A, Tashiro H, Amano H, Kobayashi T, Onoe T, Ide K, Takaki S, Takahashi S, Arihiro K, Chayama K and Ohdan H. Safety and feasibility of diet-treated donors with steatotic livers at the initial consultation for living-donor liver transplantation. *Transplantation.* 2012; 93: 1024-1030.
84. Onji K, Yoshida S, Tanaka S, Takemura Y, Oka S, Yoshihara M, Yamada H, Okajima M and Chayama K. Microvascular structure and perfusion imaging of colon cancer by means of contrast-enhanced ultrasonography. *Abdom Imaging.* 2012; 37: 297-303.
85. Okusaka T, Kasugai H, Ishii H, Kudo M, Sata M, Tanaka K, Shioyama Y, Chayama K, Kumada H, Yoshikawa M, Seki T, Saito H, Hayashi N, Shiratori K, Okita K, Sakaida I, Honda M, Kusumoto Y, Tsutsumi T and Sakata K. A randomized phase II trial of intra-arterial chemotherapy using SM-11355 (Miriplatin) for hepatocellular carcinoma. *Invest New Drugs.* 2012; 30: 2015-2025.
86. *Okazaki A, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Tsuge M, Takahashi S, Aikata H, Abe H, Miki D, Ochi H, Tateno C, Yoshizato K, Ohdan H and Chayama K. Severe necroinflammatory reaction caused by natural killer cell-mediated Fas/Fas ligand interaction and dendritic cells in human hepatocyte chimeric mouse. Hepatology. 2012; 56: 555-566.*
87. Okanobu H, Ito M, Tanaka S, Onogawa S, Akagi M, Oh EH, Nagata S, Okamoto S, Kuwai T, Cho S, Matsumoto Y, Kitamura S, Hidaka T and Chayama K. Evaluation of Individual Risk in Nonvariceal Gastrointestinal Bleeding Patients with NSAID Administration: A Multicenter *Study in Japan.* *Digestion.* 2012; 86: 187-193.
88. Oka S, Tanaka S, Takata S, Kanao H and Chayama K. Usefulness and safety of SB knife Jr in endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors. *Dig Endosc.* 2012; 24 Suppl 1: 90-95.
89. Ohnishi M, Tsuge M, Kohno T, Zhang Y, Abe H, Hyogo H, Kimura Y, Miki D, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Ochi H, Hayes CN, Tanaka S, Arihiro K and Chayama K. IL28B polymorphism is associated with fatty change in the liver of chronic hepatitis C patients. *J Gastroenterol.* 2012; 47: 834-844.
90. *Ohishi W and Chayama K. Treatment of chronic hepatitis B with nucleos(t)ide analogues. Hepatol Res. 2012; 42: 219-225.*
91. Ochi H, Hayes CN, Abe H, Hayashida Y, Uchiyama T, Kamatani N, Nakamura Y and Chayama K. Toward the establishment of a prediction system for the personalized treatment of chronic hepatitis C. *J Infect Dis.* 2012; 205: 204-210.
92. Nakahara T, Hyogo H, Kimura Y, Ishitobi T, Arihiro K, Aikata H, Takahashi S and Chayama K. Efficacy of rosuvastatin for the treatment of non-alcoholic steatohepatitis with dyslipidemia: An open-label, pilot study. *Hepatol Res.* 2012; 42: 1065-1072.

93. Nakadoi K, Tanaka S, Kanao H, Terasaki M, Takata S, Oka S, Yoshida S, Arihiro K and Chayama K. Management of T1 colorectal carcinoma with special reference to criteria for curative endoscopic resection. *J Gastroenterol Hepatol.* 2012; 27: 1057-1062.
94. Nakadoi K, Tanaka S, Hayashi N, Ozawa S, Terasaki M, Takata S, Kanao H, Oka S and Chayama K. Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for rectal tumor close to the dentate line. *Gastrointest Endosc.* 2012; 76: 444-450.
95. Nagaoki Y, Hyogo H, Aikata H, Tanaka M, Naeshiro N, Nakahara T, Honda Y, Miyaki D, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S and Chayama K. Recent trend of clinical features in patients with hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res.* 2012; 42: 368-375.
96. Murakami E, Aikata H, Miyaki D, Nagaoki Y, Katamura Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Takahashi S, Kimura T, Kenjo M, Nagata Y, Ishikawa M, Kakizawa H, Awai K and Chayama K. Hepatic arterial infusion chemotherapy using 5-fluorouracil and systemic interferon-alpha for advanced hepatocellular carcinoma in combination with or without three-dimensional conformal radiotherapy to venous tumor thrombosis in hepatic vein or inferior vena cava. *Hepatol Res.* 2012; 42: 442-453.
97. Miki D, Ohishi W, Ochi H, Hayes CN, Abe H, Tsuge M, Imamura M, Kamatani N, Nakamura Y and Chayama K. Serum PAI-1 is a novel predictor for response to pegylated interferon-alpha-2b plus ribavirin therapy in chronic hepatitis C virus infection. *J Viral Hepat.* 2012; 19: e126-133.
98. Miki D, Ochi H, Hayes CN, Aikata H and Chayama K. Hepatocellular carcinoma: towards personalized medicine. *Cancer Sci.* 2012; 103: 846-850.
99. Matsuo T, Ito M, Tatsugami M, Boda T, Takata S, Tanaka S and Chayama K. Gastric cancer development after Helicobacter pylori eradication therapy: a new form of gastric neoplasia. *Digestion.* 2012; 85: 61-67.
100. Matsuo J, Mizui M, Okita H, Katayama K, Aimitsu S, Sakata T, Obayashi M, Nakanishi T, Chayama K, Miyakawa Y, Yoshizawa H, Tanaka J and for the Hiroshima Hepatitis Study G. Follow up of the 987 blood donors found with hepatitis C virus infection over 9-18 years. *Hepatol Res.* 2012; 42: 637-647.
101. *Matsumoto A, Tanaka E, Suzuki Y, Kobayashi M, Tanaka Y, Shinkai N, Hige S, Yatsuhashi H, Nagaoka S, Chayama K, Tsuge M, Yokosuka O, Imazeki F, Nishiguchi S, Saito M, Fujiwara K, Torii N, Hiramatsu N, Karino Y and Kumada H. Combination of hepatitis B viral antigens and DNA for prediction of relapse after discontinuation of nucleos(t)ide analogs in patients with chronic hepatitis B. Hepatol Res. 2012; 42: 139-149.*
102. Maruhashi T, Soga J, Fujimura N, Idei N, Mikami S, Iwamoto Y, Kajikawa M, Matsumoto T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A, Tomiyama H, Takase B, Yamashina A and Higashi Y. Hyperbilirubinemia, augmentation of endothelial function, and decrease in oxidative stress in Gilbert syndrome. *Circulation.* 2012; 126: 598-603.
103. Kuwabara T, Hiyama T, Oka S, Urabe Y, Tanaka S, Yoshihara M, Arihiro K, Shimamoto F and Chayama K. Clinical features of pharyngeal intraepithelial neoplasias and outcomes of treatment by endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc.* 2012; 76: 1095-1103.
104. Kuwabara T, Chayama K, Tanaka S, Oka S, Hiyama T and Yoshihara M. Compliance with standard precautions among gastrointestinal endoscopists and endoscopy nurses in Japan. *Am J Infect Control.* 2012; 40: 80.
105. Kumada H, Toyota J, Okanoue T, Chayama K, Tsubouchi H and Hayashi N. Telaprevir with peginterferon and ribavirin for treatment-naive patients chronically infected with HCV of genotype 1 in Japan. *J Hepatol.* 2012; 56: 78-84.

106. Kohno T, Tsuge M, Hayes CN, Hatakeyama T, Ohnishi M, Abe H, Miki D, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Ochi H, Tanaka S and Chayama K. Identification of novel HCV deletion mutants in chronic hepatitis C patients. *Antivir Ther.* 2012; 17: 1551-1561.

107. Kobayashi M, Suzuki F, Akuta N, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kawamura Y, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Chayama K, Miyakawa Y and Kumada H. Association of two polymorphisms of the IL28B gene with viral factors and treatment response in 1,518 patients infected with hepatitis C virus. *J Gastroenterol.* 2012; 47: 596-605.

108. Kawaoka T, Takahashi S, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Onoe T, Tashiro H, Ohdan H and Chayama K. Interleukin-28B single nucleotide polymorphism of donors and recipients can predict viral response to pegylated interferon/ribavirin therapy in patients with recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation. *J Gastroenterol Hepatol.* 2012; 27: 1467-1472.

109. Kawaoka T, Hiraga N, Takahashi S, Takaki S, Tsuge M, Nagaoki Y, Hashimoto Y, Katamura Y, Miki D, Hiramatsu A, Waki K, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Tashiro H, Ohdan H and Chayama K. Achievement of sustained viral response after switching treatment from pegylated interferon alpha-2b to alpha-2a and ribavirin in patients with recurrence of hepatitis C virus genotype 1 infection after liver transplantation: a case report. *Intervirology.* 2012; 55: 306-310.

110. Kanbara A, Miura Y, Hyogo H, Chayama K and Seyama I. Effect of urine pH changed by dietary intervention on uric acid clearance mechanism of pH-dependent excretion of urinary uric acid. *Nutr J.* 2012; 11: 39.

111. Iwamoto Y, Maruhashi T, Fujii Y, Idei N, Fujimura N, Mikami S, Kajikawa M, Matsumoto T, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Nakashima A and Higashi Y. Intima-media thickness of brachial artery, vascular function, and cardiovascular risk factors. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2012; 32: 2295-2303.

112. Ito M, Yoshihara M, Takata S, Wada Y, Matsuo T, Boda T, Tanaka S and Chayama K. Serum screening for detection of high-risk group for early-stage diffuse type gastric cancer in Japanese. *J Gastroenterol Hepatol.* 2012 27 598-602

113. Imajo K, Ueda Y, Kawano F, Sao H, Kamimura T, Ito Y, Mugitani A, Suzuki K, Uike N, Miyamura K, Uski K, Morimatsu Y, Akiyama N, Nagai H, Ohara A, Tanimoto M, Takaki K, Chayama K, Urabe M, Nagatoshi Y and Tamura K. [A phase III study of the efficacy and safety of meropenem in patients with febrile neutropenia]. *Jpn J Antibiot.* 2012; 65: 271-287.

114. Iiboshi T, Hanada K, Fukuda T, Yonehara S, Sasaki T and Chayama K. Value of cytodiagnosis using endoscopic nasopancreatic drainage for early diagnosis of pancreatic cancer: establishing a new method for the early detection of pancreatic carcinoma in situ. *Pancreas.* 2012; 41 523:-529.

115. Hyogo H, Yamagishi SI, Maeda S, Fukami K, Ueda S, Okuda S, Nakahara T, Kimura Y, Ishitobi T and Chayama K. Serum asymmetric dimethylarginine levels are independently associated with procollagen III N-terminal peptide in nonalcoholic fatty liver disease patients. *Clin Exp Med.* 2012; in press.

116. Hyogo H, Yamagishi S, Maeda S, Kimura Y, Ishitobi T and Chayama K. Atorvastatin improves disease activity of nonalcoholic steatohepatitis partly through its tumour necrosis factor-alpha-lowering property. *Dig Liver Dis.* 2012; 44 :492-496.

117. Hyogo H, Yamagishi S, Maeda S, Kimura Y, Ishitobi T and Chayama K. Serum levels of pigment epithelium-derived factor (PEDF) are independently associated with procollagen III N-terminal peptide levels in patients with nonalcoholic fatty liver disease. *Clin Biochem.* 2012; 45: 1554-1557.

118. Hyogo H, Yamagishi S, Maeda S, Kimura Y, Ishitobi T and Chayama K. Increased insulinogenic index is an independent determinant of nonalcoholic fatty liver disease activity score in patients with normal glucose tolerance. *Dig Liver Dis.* 2012; 44: 935-939.
119. Hotta K, Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, So R, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Komatsu R, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Yoshimatsu H, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K and Sekine A. Association between type 2 diabetes genetic susceptibility loci and visceral and subcutaneous fat area as determined by computed tomography. *J Hum Genet.* 2012; 57: 305-310.
120. Hotta K, Kitamoto A, Kitamoto T, Mizusawa S, Teranishi H, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Nakamura T, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Komatsu R, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Yoshimatsu H, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K and Sekine A. Genetic variations in the CYP17A1 and NT5C2 genes are associated with a reduction in visceral and subcutaneous fat areas in Japanese women. *J Hum Genet.* 2012; 57: 46-51.
121. Hiyama T, Yoshihara M, Tanaka S and Chayama K. Change in malpractice claims in Japanese gastroenterological practice. *Am J Gastroenterol.* 2012; 107: 143-144.
122. Hayes CN, Imamura M, Aikata H and Chayama K. Genetics of IL28B and HCV--response to infection and treatment. *Nat Rev Gastroenterol Hepatol.* 2012; 9: 406-417.
123. *Hayes CN, Akamatsu S, Tsuge M, Miki D, Akiyama R, Abe H, Ochi H, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Aikata H, Kawaoka T, Kawakami Y, Ohishi W and Chayama K. Hepatitis B Virus-Specific miRNAs and Argonaute2 Play a Role in the Viral Life Cycle. PLoS One. 2012; 7: e47490.*
124. Hayashi N, Okanoue T, Tsubouchi H, Toyota J, Chayama K and Kumada H. Efficacy and safety of telaprevir, a new protease inhibitor, for difficult-to-treat patients with genotype 1 chronic hepatitis C. *J Viral Hepat.* 2012; 19: e134-142.
125. Hashimoto M, Kobayashi T, Tashiro H, Amano H, Oshita A, Tanimoto Y, Kuroda S, Tazawa H, Aikata H, Chayama K, Fujii M, Arihiro K and Ohdan H. A huge metastatic liver tumor from leiomyosarcoma of the inferior vena cava: report of a case. *Surg Today.* 2012; 42: 505-508.
126. Fujimura N, Noma K, Hata T, Soga J, Hidaka T, Idei N, Fujii Y, Mikami S, Maruhashi T, Iwamoto Y, Kihara Y, Chayama K, Kato H, Liao JK, Higashi Y and Group RS. Mineralocorticoid receptor blocker eplerenone improves endothelial function and inhibits Rho-associated kinase activity in patients with hypertension. *Clin Pharmacol Ther.* 2012; 91: 289-297.
127. Fujimura N, Jitsuiki D, Maruhashi T, Mikami S, Iwamoto Y, Kajikawa M, Chayama K, Kihara Y, Noma K, Goto C and Higashi Y. Geranylgeranylacetone, heat shock protein 90/AMP-activated protein kinase/endothelial nitric oxide synthase/nitric oxide pathway, and endothelial function in humans. *Arterioscler Thromb Vasc Biol.* 2012; 32: 153-160.
128. Fujimoto A, Totoki Y, Abe T, Boroevich KA, Hosoda F, Nguyen HH, Aoki M, Hosono N, Kubo M, Miya F, Arai Y, Takahashi H, Shirakihara T, Nagasaki M, Shibuya T, Nakano K, Watanabe-Makino K, Tanaka H, Nakamura H, Kusuda J, Ojima H, Shimada K, Okusaka T, Ueno M, Shigekawa Y, Kawakami Y, Arihiro K, Ohdan H, Gotoh K, Ishikawa O, Ariizumi S, Yamamoto M, Yamada T, Chayama K, Kosuge T, Yamaue H, Kamatani N, Miyano S, Nakagama H, Nakamura Y, Tsunoda T, Shibata T and Nakagawa H. Whole-genome sequencing of liver cancers identifies etiological influences on mutation patterns and recurrent mutations in chromatin regulators. *Nat Genet.* 2012; 44: 760-764.

129. Eguchi Y, Hyogo H, Ono M, Mizuta T, Ono N, Fujimoto K, Chayama K, Saibara T and Jsg N. Prevalence and associated metabolic factors of nonalcoholic fatty liver disease in the general population from 2009 to 2010 in Japan: a multicenter large retrospective study. *J Gastroenterol.* 2012; 47: 586-595.
130. Chayama K, Takahashi S, Toyota J, Karino Y, Ikeda K, Ishikawa H, Watanabe H, McPhee F, Hughes E and Kumada H. Dual therapy with the nonstructural protein 5A inhibitor, daclatasvir, and the nonstructural protein 3 protease inhibitor, asunaprevir, in hepatitis C virus genotype 1b-infected null responders. *Hepatology.* 2012; 55: 742-748.
131. Chayama K, Hayes CN and Imamura M. Impact of interleukin-28B genotype on in vitro and in vivo systems of hepatitis C virus replication. *Hepatol Res.* 2012; 42: 841-853.
132. Akuta N, Suzuki F, Hirakawa M, Kawamura Y, Yatsuji H, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Chayama K, Nakamura Y and Kumada H. Amino acid substitution in HCV core region and genetic variation near the IL28B gene affect viral dynamics during telaprevir, peginterferon and ribavirin treatment. *Intervirology.* 2012; 55: 417-425.
133. Akuta N, Suzuki F, Hirakawa M, Kawamura Y, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Chayama K, Nakamura Y and Kumada H. Amino acid substitution in HCV core/NS5A region and genetic variation near IL28B gene affect treatment efficacy to interferon plus ribavirin combination therapy. *Intervirology.* 2012; 55: 231-241.
134. Miyaki D, Aikata H, Honda Y, Naeshiro N, Nakahara T, Tanaka M, Nagaoki Y, Kawaoka T, Takaki S, Waki K, Hiramatsu A, Takahashi S, Ishikawa M, Kakizawa H, Awai K and Chayama K. Hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma according to Child-Pugh classification. *J Gastroenterol Hepatol.* 2012; 27: 1850-1857.
135. Kawaoka T, Aikata H, Murakami E, Nakahara T, Naeshiro N, Tanaka M, Honda Y, Miyaki D, Nagaoki Y, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Takahashi S and Chayama K. Evaluation of the mRECIST and alpha-fetoprotein ratio for stratification of the prognosis of advanced-hepatocellular-carcinoma patients treated with sorafenib. *Oncology.* 2012; 83: 192-200.
136. Yoshida K, Ohishi W, Nakashima E, Fujiwara S, Akahoshi M, Kasagi F, Chayama K, Hakoda M, Kyoizumi S, Nakachi K, Hayashi T and Kusunoki Y. Lymphocyte subset characterization associated with persistent hepatitis C virus infection and subsequent progression of liver fibrosis. *Hum Immunol.* 2011; 72: 821-826.
137. Yoneda M, Fujii H, Sumida Y, Hyogo H, Itoh Y, Ono M, Eguchi Y, Suzuki Y, Aoki N, Kanemasa K, Imajo K, Chayama K, Saibara T, Kawada N, Fujimoto K, Kohgo Y, Yoshikawa T, Okanoue T and Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver D. Platelet count for predicting fibrosis in nonalcoholic fatty liver disease. *J Gastroenterol.* 2011; 46: 1300-1306.
138. Yokosuka O, Kurosaki M, Imazeki F, Arase Y, Tanaka Y, Chayama K, Tanaka E, Kumada H, Izumi N, Mizokami M and Kudo M. Management of hepatitis B: Consensus of the Japan Society of Hepatology 2009. *Hepatol Res.* 2011; 41: 41295.
139. Wakita T, Suzuki T, Evans MJ, Shimotohno K, Chayama K, Matsuura Y, Hijikata M, Moriishi K, Seya T, Enomoto N, Koike K, Kato N, Kanto T and Hotta H. Will there be an HCV meeting in 2020? Summary of the 17th international meeting on hepatitis C virus and related viruses. *Gastroenterology.* 2011; 141: e1-5.
140. Ushitora Y, Tashiro H, Takahashi S, Amano H, Oshita A, Kobayashi T, Chayama K and Ohdan H. Splenectomy in chronic hepatic disorders: portal vein thrombosis and improvement of liver function. *Dig Surg.* 2011; 28: 41531.
141. Urabe Y, Hiyama T, Tanaka S, Yoshihara M, Arihiro K and Chayama K. Advantages of endoscopic

submucosal dissection versus endoscopic oblique aspiration mucosectomy for superficial esophageal tumors. *J Gastroenterol Hepatol*. 2011; 26: 275-280.

142. Tsuge M, Takahashi S, Hiraga N, Fujimoto Y, Zhang Y, Mitsui F, Abe H, Kawaoka T, Imamura M, Ochi H, Hayes CN and Chayama K. Effects of hepatitis B virus infection on the interferon response in immunodeficient human hepatocyte chimeric mice. *J Infect Dis*. 2011; 204: 224-228.
143. Tsuge M, Fujimoto Y, Hiraga N, Zhang Y, Ohnishi M, Kohno T, Abe H, Miki D, Imamura M, Takahashi S, Ochi H, Hayes CN, Miya F, Tsunoda T and Chayama K. Hepatitis C virus infection suppresses the interferon response in the liver of the human hepatocyte chimeric mouse. *PLoS One*. 2011; 6: e23856.
144. Tatsugami M, Ito M, Ishihara K, Haruma K, Sumii M, Sasaki A, Kitamura S, Takamura A, Wada Y, Matsumoto Y, Imagawa S, Takata S, Tanaka S, Yoshihara M and Chayama K. Plaunotol induces a comparative increase of acidic mucin fraction in gastric juice. *Hepatogastroenterology*. 2011; 58: 663-668.
145. Tashiro H, Aikata H, Waki K, Amano H, Oshita A, Kobayashi T, Tanimoto Y, Kuroda S, Tazawa H, Chayama K, Asahara T and Ohdan H. Treatment strategy for early hepatocellular carcinomas: comparison of radiofrequency ablation with or without transcatheter arterial chemoembolization and surgical resection. *J Surg Oncol*. 2011; 104: 41342.
146. Takamura A, Ito M, Imagawa S, Takata S, Tanaka S, Teixeira CR, Kamada T, Haruma K and Chayama K. Helicobacter pylori cagA polymorphism and gastric inflammation: an international comparison between Japanese and Brazilian patients. *Scand J Gastroenterol*. 2011; 46: 1051-1056.
147. Suzuki F, Suzuki Y, Akuta N, Sezaki H, Hirakawa M, Kawamura Y, Hosaka T, Kobayashi M, Saito S, Arase Y, Ikeda K, Kobayashi M, Chayama K, Kamatani N, Nakamura Y, Miyakawa Y and Kumada H. Influence of ITPA polymorphisms on decreases of hemoglobin during treatment with pegylated interferon, ribavirin, and telaprevir. *Hepatology*. 2011; 53: 415-421.
148. Sumida Y, Yoneda M, Hyogo H, Yamaguchi K, Ono M, Fujii H, Eguchi Y, Suzuki Y, Imai S, Kanemasa K, Fujita K, Chayama K, Yasui K, Saibara T, Kawada N, Fujimoto K, Kohgo Y, Okanoue T and Japan Study Group of Nonalcoholic Fatty Liver D. A simple clinical scoring system using ferritin, fasting insulin, and type IV collagen 7S for predicting steatohepatitis in nonalcoholic fatty liver disease. *J Gastroenterol*. 2011; 46: 257-268.
149. Sumida T, Kitadai Y, Shinagawa K, Tanaka M, Kodama M, Ohnishi M, Ohara E, Tanaka S, Yasui W and Chayama K. Anti-stromal therapy with imatinib inhibits growth and metastasis of gastric carcinoma in an orthotopic nude mouse model. *Int J Cancer*. 2011; 128: 2050-2062.
150. Soga J, Noma K, Hata T, Hidaka T, Fujii Y, Idei N, Fujimura N, Mikami S, Maruhashi T, Kihara Y, Chayama K, Kato H, Liao JK, Higashi Y and Group RS. Rho-associated kinase activity, endothelial function, and cardiovascular risk factors. *Arterioscler Thromb Vasc Biol*. 2011; 31: 2353-2359.
151. Shimomura T, Hiyama T, Oka S, Tanaka S, Yoshihara M, Shimamoto F and Chayama K. Frequent somatic mutations of mitochondrial DNA in traditional serrated adenomas but not in sessile serrated adenomas of the colorectum. *J Gastroenterol Hepatol*. 2011; 26: 1565-1569.
152. Saeed M, Shiina M, Date T, Akazawa D, Watanabe N, Murayama A, Suzuki T, Watanabe H, Hiraga N, Imamura M, Chayama K, Choi Y, Krawczynski K, Liang TJ, Wakita T and Kato T. In vivo adaptation of hepatitis C virus in chimpanzees for efficient virus production and evasion of apoptosis. *Hepatology*. 2011; 54: 425-433.
153. Ozeki I, Akaike J, Karino Y, Arakawa T, Kuwata Y, Ohmura T, Sato T, Kamiya N, Yamada I, Chayama K, Kumada H and Toyota J. Antiviral effects of peginterferon alpha-2b and ribavirin following 24-week monotherapy of telaprevir in Japanese hepatitis C patients. *J*

*Gastroenterol.* 2011; 46: 929-937.

154. Onji K, Yoshida S, Tanaka S, Kawase R, Takemura Y, Oka S, Tamaki T, Raytchev B, Kaneda K, Yoshihara M and Chayama K. Quantitative analysis of colorectal lesions observed on magnified endoscopy images. *J Gastroenterol.* 2011; 46: 1382-1390.
155. Oka S, Tanaka S, Takata S, Kanao H and Chayama K. Clinical usefulness of narrow band imaging magnifying classification for colorectal tumors based on both surface pattern and microvessel features. *Dig Endosc.* 2011 23 Suppl 1 101-105
156. Ohishi W, Fujiwara S, Cologne JB, Suzuki G, Akahoshi M, Nishi N, Tsuge M and Chayama K. Impact of radiation and hepatitis virus infection on risk of hepatocellular carcinoma. *Hepatology.* 2011; 53: 1237-1245.
157. Ohishi W and Chayama K. Prevention of hepatitis B virus reactivation in immunosuppressive therapy or chemotherapy. *Clin Exp Nephrol.* 2011; 15: 634-640.
158. Ohara E, Hiraga N, Imamura M, Iwao E, Kamiya N, Yamada I, Kono T, Onishi M, Hirata D, Mitsui F, Kawaoka T, Tsuge M, Takahashi S, Abe H, Hayes CN, Ochi H, Tateno C, Yoshizato K, Tanaka S and Chayama K. Elimination of hepatitis C virus by short term NS3-4A and NS5B inhibitor combination therapy in human hepatocyte chimeric mice. *J Hepatol.* 2011; 54: 872-878.
159. Ochi H, Maekawa T, Abe H, Hayashida Y, Nakano R, Imamura M, Hiraga N, Kawakami Y, Aimitsu S, Kao JH, Kubo M, Tsunoda T, Kumada H, Nakamura Y, Hayes CN and Chayama K. IL-28B predicts response to chronic hepatitis C therapy--fine-mapping and replication study in Asian populations. *J Gen Virol.* 2011; 92: 1071-1081.
160. Oba S, Tanaka S, Sano Y, Oka S and Chayama K. Current status of narrow-band imaging magnifying colonoscopy for colorectal neoplasia in Japan. *Digestion.* 2011; 83: 167-172.
161. Nagaoki Y, Aikata H, Miyaki D, Murakami E, Hashimoto Y, Katamura Y, Azakami T, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S and Chayama K. Clinical features and prognosis in patients with hepatocellular carcinoma that developed after hepatitis C virus eradication with interferon therapy. *J Gastroenterol.* 2011; 46: 799-808.
162. Nagai K, Ueno Y, Tanaka S, Hayashi R, Onitake T, Hanaoka R, Wada Y and Chayama K. Intestinal Tuberculosis with Hoarseness as a Chief Complaint due to Mediastinal Lymphadenitis. *Case Rep Gastroenterol.* 2011; 5: 540-545.
163. Miki D, Ochi H, Hayes CN, Abe H, Yoshima T, Aikata H, Ikeda K, Kumada H, Toyota J, Morizono T, Tsunoda T, Kubo M, Nakamura Y, Kamatani N and Chayama K. Variation in the DEPDC5 locus is associated with progression to hepatocellular carcinoma in chronic hepatitis C virus carriers. *Nat Genet.* 2011; 43: 797-800.
164. Mbarek H, Ochi H, Urabe Y, Kumar V, Kubo M, Hosono N, Takahashi A, Kamatani Y, Miki D, Abe H, Tsunoda T, Kamatani N, Chayama K, Nakamura Y and Matsuda K. A genome-wide association study of chronic hepatitis B identified novel risk locus in a Japanese population. *Hum Mol Genet.* 2011; 20: 3884-3892.
165. Matsuo T, Ito M, Takata S, Tanaka S, Yoshihara M and Chayama K. Low prevalence of Helicobacter pylori-negative gastric cancer among Japanese. *Helicobacter.* 2011; 16: 415-419.
166. Manabe N, Nakamura K, Hara M, Imamura H, Kusunoki H, Tanaka S, Chayama K, Hata J and Haruma K. Impaired gastric response to modified sham feeding in patients with postprandial distress syndrome. *Neurogastroenterol Motil.* 2011; 23: 215-219, e112.
167. Kuwabara T, Urabe Y, Hiyama T, Tanaka S, Shimomura T, Oko S, Yoshihara M and Chayama K. Prevalence and impact of musculoskeletal pain in Japanese gastrointestinal endoscopists: a controlled study. World *J Gastroenterol.* 2011; 17: 1488-1493.

168. Kuwabara T, Hiyama T, Tanaka S, Yoshihara M, Arihiro K and Chayama K. Genetic pathways of multiple esophageal squamous cell carcinomas. *Oncol Rep.* 2011; 25: 453-459.
169. Kohno H, Kouno H, Aimitsu S, Aisaka Y, Kitamoto M, Kawakami H and Chayama K. Impact of ribavirin dose reduction on the efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for elderly patients infected with genotype 1b and high viral loads. *Hepatol Res.* 2011; 41: 626-634.
170. Kodama H, Aikata H, Murakami E, Miyaki D, Nagaoki Y, Hashimoto Y, Azakami T, Katamura Y, Kawaoka T, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S, Ishikawa M, Kakizawa H, Awai K, Kenjo M, Nagata Y and Chayama K. Clinical outcome of esophageal varices after hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma with major portal vein tumor thrombus. *Hepatol Res.* 2011; 41: 1046-1056.
171. Kobayashi K, Sasaki T, Serikawa M, Inoue M, Itsuki H and Chayama K. Assessment of trypsinogen-2 levels as an early diagnostic for post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis. *Pancreas.* 2011; 40: 1206-1210.
172. Kimura Y, Hyogo H, Ishitobi T, Nabeshima Y, Arihiro K and Chayama K. Postprandial insulin secretion pattern is associated with histological severity in non-alcoholic fatty liver disease patients without prior known diabetes mellitus. *J Gastroenterol Hepatol.* 2011; 26: 517-522.
173. Kawaoka T, Hayes CN, Ohishi W, Ochi H, Maekawa T, Abe H, Tsuge M, Mitsui F, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Kubo M, Tsunoda T, Nakamura Y, Kumada H and Chayama K. Predictive value of the IL28B polymorphism on the effect of interferon therapy in chronic hepatitis C patients with genotypes 2a and 2b. *J Hepatol.* 2011; 54: 408-414.
174. Kawaoka T, Aikata H, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S, Ochi H, Tashiro H, Ohdan H and Chayama K. IL28B polymorphism may guide pegylated interferon plus ribavirin therapy even after curative treatment for hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma. *J Viral Hepat.* 2011; 18: e550-560.
175. Kawaoka T, Aikata H, Miyaki D, Murakami E, Azakami T, Takaki S, Nagaoki Y, Hashimoto Y, Katamura Y, Hiramatsu A, Waki K, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S, Ochi H, Tashiro H, Ohdan H and Chayama K. Eradication of hepatitis C virus genotype 1 after liver transplantation by interferon therapy before surgery: Report of three patients with analysis of interleukin-28 polymorphism, hepatitis C virus core region and interferon-sensitivity determining region. *Hepatol Res.* 2011; 41: 1126-1131.
176. Kamigaki M, Sasaki T, Serikawa M, Inoue M, Kobayashi K, Itsuki H, Minami T, Yukutake M, Okazaki A, Ishigaki T, Ishii Y, Kosaka K and Chayama K. Statins induce apoptosis and inhibit proliferation in cholangiocarcinoma cells. *Int J Oncol.* 2011; 39: 561-568.
177. Kajiwara K, Kakizawa H, Takeuchi N, Toyota N, Hieda M, Ishikawa M, Tanitame K, Tani C, Suzuki T, Fujikawa K, Aikata H, Chayama K and Awai K. Cutaneous complications after transcatheter arterial treatment for hepatocellular carcinoma via the internal mammary artery: how to avoid this complication. *Jpn J Radiol.* 2011; 29: 307-315.
178. Inoue M, Tazuma S, Kanno K, Hyogo H, Igarashi K and Chayama K. Bach1 gene ablation reduces steatohepatitis in mouse MCD diet model. *J Clin Biochem Nutr.* 2011; 48: 161-166.
179. Imagawa H, Oka S, Tanaka S, Noda I, Higashiyama M, Sanomura Y, Shishido T, Yoshida S and Chayama K. Improved detectability of small-bowel lesions via capsule endoscopy with computed virtual chromoendoscopy: a pilot study. *Scand J Gastroenterol.* 2011; 46: 1133-1137.
180. Imagawa H, Oka S, Tanaka S, Noda I, Higashiyama M, Sanomura Y, Shishido T, Yoshida S and Chayama K. Improved visibility of lesions of the small intestine via capsule endoscopy with computed virtual chromoendoscopy. *Gastrointest Endosc.* 2011; 73: 299-306.

181. Idei N, Soga J, Hata T, Fujii Y, Fujimura N, Mikami S, Maruhashi T, Nishioka K, Hidaka T, Kihara Y, Chowdhury M, Noma K, Taguchi A, Chayama K, Sueda T and Higashi Y. Autologous bone-marrow mononuclear cell implantation reduces long-term major amputation risk in patients with critical limb ischemia: a comparison of atherosclerotic peripheral arterial disease and Buerger disease. *Circ Cardiovasc Interv*. 2011; 4: 15-25.

182. Idei N, Nishioka K, Soga J, Hidaka T, Hata T, Fujii Y, Fujimura N, Maruhashi T, Mikami S, Teragawa H, Kihara Y, Noma K, Chayama K and Higashi Y. Vascular function and circulating progenitor cells in thromboangitis obliterans (Buerger's disease) and atherosclerosis obliterans. *Hypertension*. 2011; 57: 70-78.

183. Hotta K, Kitamoto T, Kitamoto A, Mizusawa S, Matsuo T, Nakata Y, Hyogo H, Ochi H, Kamohara S, Miyatake N, Kotani K, Komatsu R, Itoh N, Mineo I, Wada J, Yoneda M, Nakajima A, Funahashi T, Miyazaki S, Tokunaga K, Masuzaki H, Ueno T, Chayama K, Hamaguchi K, Yamada K, Hanafusa T, Oikawa S, Yoshimatsu H, Sakata T, Tanaka K, Matsuzawa Y, Nakao K and Sekine A. Computed tomography analysis of the association between the SH2B1 rs7498665 single-nucleotide polymorphism and visceral fat area. *J Hum Genet*. 2011; 56: 716-719.

184. Hiraga N, Imamura M, Abe H, Hayes CN, Kono T, Onishi M, Tsuge M, Takahashi S, Ochi H, Iwao E, Kamiya N, Yamada I, Tateno C, Yoshizato K, Matsui H, Kanai A, Inaba T, Tanaka S and Chayama K. Rapid emergence of telaprevir resistant hepatitis C virus strain from wildtype clone in vivo. *Hepatology*. 2011; 54: 781-788.

185. Hiraga N, Abe H, Imamura M, Tsuge M, Takahashi S, Hayes CN, Ochi H, Tateno C, Yoshizato K, Nakamura Y, Kamatani N and Chayama K. Impact of viral amino acid substitutions and host interleukin-28b polymorphism on replication and susceptibility to interferon of hepatitis C virus. *Hepatology*. 2011; 54: 764-771.

186. Higashiyama M, Oka S, Tanaka S, Sanomura Y, Imagawa H, Shishido T, Yoshida S and Chayama K. Risk factors for bleeding after endoscopic submucosal dissection of gastric epithelial neoplasm. *Dig Endosc*. 2011; 23: 290-295.

187. Hayes CN, Kobayashi M, Akuta N, Suzuki F, Kumada H, Abe H, Miki D, Imamura M, Ochi H, Kamatani N, Nakamura Y and Chayama K. HCV substitutions and IL28B polymorphisms on outcome of peg-interferon plus ribavirin combination therapy. *Gut*. 2011; 60: 261-267.

188. Hata T, Soga J, Hidaka T, Idei N, Fujii Y, Fujimura N, Mikami S, Maruhashi T, Kihara Y, Chayama K, Kato H, Noma K, Liao JK, Higashi Y and Group RS. Calcium channel blocker and Rho-associated kinase activity in patients with hypertension. *J Hypertens*. 2011; 29: 373-379.

189. Hata T, Goto C, Soga J, Hidaka T, Fujii Y, Idei N, Fujimura N, Maruhashi T, Mikami S, Kihara Y, Chayama K, Noma K, Liao JK and Higashi Y. Measurement of Rho-associated kinase (ROCK) activity in humans: validity of leukocyte p-MBS/t-MBS in comparison with vascular response to fasudil. *Atherosclerosis*. 2011; 214: 117-121.

190. Hashimoto Y, Ochi H, Abe H, Hayashida Y, Tsuge M, Mitsui F, Hiraga N, Imamura M, Takahashi S, Nelson Hayes C, Ohishi W, Kubo M, Tsunoda T, Kamatani N, Nakamura Y and Chayama K. Prediction of response to peginterferon-alfa-2b plus ribavirin therapy in Japanese patients infected with hepatitis C virus genotype 1b. *J Med Virol*. 2011; 83: 981-988.

191. Hanaoka R, Ueno Y, Tanaka S, Nagai K, Onitake T, Yoshioka K and Chayama K. The water-soluble extract from cultured medium of Ganoderma lucidum (Reishi) mycelia (Designated as MAK) ameliorates murine colitis induced by trinitrobenzene sulphonic acid. *Scand J Immunol*. 2011; 74: 454-462.

192. Fujimoto Y, Ochi H, Maekawa T, Abe H, Hayes CN, Kumada H, Nakamura Y and Chayama K. A single nucleotide polymorphism in activated Cdc42 associated tyrosine kinase 1 influences